

2020年2月17日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

東急コミュニティー 初のアンテナショップ運営 「日比谷しまね館」、日比谷シャンテ内に2020年4月オープン！ ～首都圏における島根県の情報発信・活動拠点として魅力をPR～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、2020年4月にオープン予定の島根県の新アンテナショップ「日比谷しまね館」の運営者に決定し、本施設の管理運営を行うことになりましたのでお知らせいたします。

日比谷しまね館について

島根県は2003年より、首都圏における島根県の情報発信拠点として日本橋にアンテナショップ「にほんばし島根館」を展開してきました。この店舗を1月末に閉館し、新たに複合商業ビル「日比谷シャンテ」地下1階にオープンするのが「日比谷しまね館」です。

当社はこれまで国や地方自治体の施設など、多様な公共施設の管理運営実績を重ねてまいりました。今回、これらの実績のほか、同じく東急不動産ホールディングスグループで、福井県アンテナショップの運営実績がある東急ハンズと連携が図れる点も評価され、島根県から運営管理を受託することとなりました。当社で地方自治体のアンテナショップの運営を行うのは初めての取り組みとなります。



日比谷しまね館イメージ

東急コミュニティーの提案内容について

日比谷しまね館は日比谷シャンテとの親和性を意識し、幅広い世代の女性をメインターゲットに設定しました。島根県が運営する観光・移住相談コーナーのほか、県産品常設・企画展示イベント・飲食の3つのゾーンに分かれています。

◆県産品常設ゾーン

日本海の魚介類や宍道湖のしじみなどの島根県特産品のほか、「美肌県しまね」の観光プロモーションと連動した化粧品コーナーも常設します。

◆企画展示イベントゾーン

島根県の「歴史」「芸術」「自然」に触れていただける企画・展示を行います。また、旬の食材の展示やファミリーの目に留まるイベントを行い、「島根に行ってみよう、行ってみよう！」という気持ちを高めます。

◆飲食ゾーン

飲食ゾーンでは島根県の地酒を目玉に、県産品にひと手間加えたメニューを提供し、島根の「食」を届けます。

店舗内装には、伝統工芸品の出雲石灯ろうの原材料としても知られる「来待石」や、日本三大瓦のひとつで石見地方で生産される「石州瓦」など、島根県産の素材を棚や壁面に使用しています。また、県産品や展示品は日比谷シャンテの主な客層である女性の目線の高さに合わせて配置しています。



飲食ゾーンイメージ

コミュニティーを創る会社として、島根の魅力をPR

当社は、全国でビル・マンションの管理運営、施設マネジメント、公共施設管理運営を行っており、ビルでは1,100件、マンションで33万戸の管理実績を有する総合不動産管理会社です。また、行政施設（指定管理者・PFI等）ではホールなどの文化施設・スタジアムなどのスポーツ施設や、空港関連施設など様々な用途の維持・管理運営実績がある中で、島根県の施設としては、1987年より、港区南青山に所在する県福利厚生施設である「島根イン青山」の運営を行っております。

当社は今年、創立50周年を迎えます。創業時より、人々の暮らし・生活を支えていく、「コミュニティーを創造していく」ことを強く意識し、社名に冠して、会社としてお客様と向き合い、実績を重ねてまいりました。

「日比谷しまね館」は島根県とアンテナショップ利用者とのご縁を結ぶ場所です。首都圏における島根県の情報発信・活動拠点として、当社は「日比谷しまね館」から島根県の魅力をPRしてまいります。

<店舗概要>

名称 : 日比谷しまね館
所在地 : 東京都千代田区有楽町1-2-2 日比谷シャンテ地下1階
店舗面積 : 264 m²
開業日 : 2020年4月22日

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：高村・伊藤）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。